

神経研究の進歩 総目次

1956年～1968年（1巻1号～12巻1号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髓血管障害例
- 4巻3号 '60年8月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）

- 6巻2号 '62年7月
小児神経病学
- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ￥1,400
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ￥1,200
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ￥1,400
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ￥1,200
第5回神経化学懇話会特集号
- 8巻1号 '64年1月 ￥1,200
末梢神経（第4回神経病理懇話会）
- 8巻2号 '64年4月 ￥1,200
奇形性神経疾患
- 8巻3号 '64年7月 ￥1,300
第6回神経化学懇話会特集号
- 8巻4号 '64年11月 ￥1,000
視床—構造・機能・臨床
- 9巻1号 '65年3月 ￥1,000
蛍光抗体法と Virus 性脳脊髄炎
- 9巻2号 '65年7月 ￥1,000
代謝性神経疾患
ミオパチーの疫学と臨床
- 9巻3号 '65年9月 ￥1,000
第7回神経化学懇話会特集号
- 9巻4号 '65年12月 ￥1,000
神経シンポジウム
- 9巻4号まで売切れになっています。
- 10巻1号 '66年3月 ￥1,000
脳のシンポジウム
- 10巻2号 '66年7月 ￥1,000
第8回神経化学懇話会特集号
- 10巻3号 '66年10月 ￥1,000
脳のシンポジウム
- 10巻4号 '66年10月 ￥1,000
第7回神経病理学会特集号
- 11巻1号 '67年3月 ￥1,000
いたみ
- 11巻2号 '67年8月 ￥1,250
日本脳炎

11巻3号 '67年10月 ¥ 1,250

脳のシンボジウム

11巻4号 '67年12月 ¥ 1,250

第8回神経病理学会

'68年4月 第12巻 第1号 1,900円

【特集 精神薄弱】

- 巻頭言……………菅 修
 人脳発育の形態学的考察……………溝 口 史 郎
 脳発育とその化学的構成……………松谷天星丸・他
 精神薄弱の脳波……………中 川 四 郎
 脳の奇形—脳の形態形成障害と
 その機序—……………村 上 氏 廣
 遺伝学よりみた精神薄弱……………井 上 英 二
 精神薄弱の臨床……………小 林 提 樹
 染色体異常……………坪 井 孝 幸・他
 双生児の研究……………詫 摩 武 俊
 実験的フェニルケトン尿症……………平 野 修 助
 フェニルケトン尿症の臨床……………高 井 俊 夫・他
 フェニルケトン尿症の脳病理……………前 田 進
 フェニルケトン尿症の遺伝と統計……………田 中 克 己
 アミノ酸代謝異常症—知能障害の
 成因に関する考察—……………多 田 啓 也・他
 先天性代謝異常症—アミノ酸
 代謝異常を除く—……………北 川 照 男
 脂質症—最近の知見について—……………横 井 晋
 内分泌障害による精神薄弱……………鎮 目 和 夫

子宮内中毒による精神薄弱……………立 津 政 順
 新生児脳障害と精神薄弱……………有 泉 基 水・他
 低血糖と精神薄弱……………小 宮 和 彦・他
 先天異常の原因としての胎内

ウイルス感染……………松 山 春 郎
 妊娠中毒症と精神薄弱……………森 山 豊
 奇形—とくに臨床病理学的立場から—……………浜 田 晋
 Phakomatose (母斑病) の病理……………室 伏 君 士
 神経疾患と精神薄弱—変性疾患を

中心として—……………近 藤 喜代太郎
 てんかんと精神薄弱……………大 田 原 俊 輔
 精神薄弱の疫学的検討……………近 藤 喜代太郎
 精神薄弱の医学的および社会的対策……………菅 野 重 道

【古典のページ】

Asbjörn Fölling の Imbecillitas

Phenylpyrouvica について……………黒 川 正 則
 精神薄弱に関連する代謝異常としての
 フェニール焦性葡萄糖の尿中排泄に
 ついて……………Asbjörn Fölling
 萬年 甫・共訳
 今野公和

Down 症候群について……………井 上 英 二
 9 例の蒙古症児の身体細胞染色体の
 研究……………Jérôme Lejeune
 Marthe Gautier
 Raymond Turpin
 菅野重道・訳